



第10号

# 岡津の翼

令和4年1月21日  
横浜市立岡津中学校  
校長 廣 渕 徹 志  
同校 学校だより担当

新年を迎えて  
新しくめぐり来れる年のむた

校長 廣 渕 徹 志

齋藤茂吉

わが若き友よひとしく立たな

明けましておめでとうございます!!

昨年<sup>さくねん</sup>は新型コロナウイルス感染症<sup>かんせんしやう</sup>拡大が収まりつつあり、日本中<sup>あんどかん</sup>に安堵感<sup>あんどかん</sup>が広まってきましたが、また、オミクロン株<sup>かぶ</sup>という新たな変異株<sup>へんいかぶ</sup>の影響<sup>えいぎやう</sup>で、予断<sup>よだん</sup>を許さない状況<sup>じやうきやう</sup>が続<sup>つ</sup>き、以前<sup>いぜん</sup>のような日常<sup>にちじやう</sup>が戻る<sup>もど</sup>るまでにはまだまだ時間<sup>じかん</sup>がかかるようです。



このような中<sup>なか</sup>でも新たな年<sup>とし</sup>を迎え、大正<sup>たいしやう</sup>から昭和前期<sup>しやわしやうぜんき</sup>にかけて活躍<sup>かつやく</sup>した歌人<sup>かじん</sup>であり、精神科医<sup>せいしんかい</sup>でもあった齋藤茂吉<sup>さいとうもきち</sup>の短歌<sup>たんか</sup>を詠<sup>よ</sup>みました。

「新しくめぐり来れる年のむた わが若き友よひとしく立たな」

(さあ 新しい年<sup>とし</sup>がやってきた。若き友<sup>わかきとも</sup>よ 一緒に立<sup>た</sup>とうではないか)

今年<sup>ことし</sup>は4月に岡津中学校<sup>りやくえん ぎ ぐわんぎやういっくがっこう</sup>と緑園義務教育学校<sup>りよくえん ぎ ぐわんぎやういっくがっこう</sup>の二校<sup>ふたがっこう</sup>に分かれ、それぞれが教職員<sup>きやうしん</sup>とともに生徒<sup>せいと</sup>・保護者<sup>ほごしや</sup>・地域<sup>いちしよ</sup>で一緒に新たな学校<sup>しやうがっこう</sup>づくりをスタートします。コロナ<sup>きやうぞん</sup>と共存<sup>きゆうぞん</sup>する中で、互<sup>たが</sup>いに若き生徒<sup>わかきせいと</sup>達<sup>たち</sup>によって、よりよい学校<sup>しやうがっこう</sup>として切り拓<sup>きりひら</sup>く年<sup>とし</sup>になります。

今年<sup>ことし</sup>の干支<sup>えと</sup> (十干十二支<sup>じっかんじゅうにし</sup>) は『壬寅<sup>みづのえとら</sup>』です。「壬<sup>みづのえ</sup>」には“はらむ” “生まれる” という意味<sup>いみ</sup>があり、「寅<sup>とら</sup>」は“延ばす” “成長<sup>せいちやう</sup>する” という意味<sup>いみ</sup>を持<sup>も</sup>っています。つまり、この2つの組み合せ<sup>くみあわせ</sup>である『壬寅<sup>みづのえとら</sup>』には、「新しく立ち上<sup>た</sup>がること」や「生まれたものが成長<sup>えんぎ</sup>すること」という縁起<sup>えんぎ</sup>の良<sup>よ</sup>さを表<sup>あらわ</sup>していると言<sup>い</sup>っても良い<sup>よ</sup>でしょう。

今年<sup>ことし</sup>度の残り<sup>のこ</sup>3ヶ月<sup>じゅうじつ</sup>を岡津中生徒<sup>おかづちゅうせいと</sup>としてともに充実<sup>じゆうじつ</sup>した生活<sup>しやうか</sup>を過<sup>す</sup>ごし、新年度<sup>しんねんど</sup>の4月<sup>しんねんど</sup>からは、岡津中<sup>おかづちゅう</sup>・緑園学園<sup>りよくえん ぐわんがくえん</sup>ともに新しく立ち上<sup>た</sup>がり、切磋琢磨<sup>せつさたくま</sup>しながら素晴らしい中学校<sup>しやうがっこう</sup>を築<sup>きず</sup>いていきましょう。

今年<sup>ことし</sup>一年<sup>いちねん</sup>、生徒<sup>せいと</sup>・保護者<sup>ほごしや</sup>の皆さん<sup>みなさん</sup>、常<sup>つね</sup>に見守<sup>みまも</sup>ってくださいっている地域<sup>ちいき</sup>の方々<sup>みなさん</sup>にとって、徐々<sup>じょじょ</sup>に今までの日常<sup>にちじやう</sup>が戻<sup>もど</sup>ってきて、心<sup>こころ</sup>から笑顔<sup>えがお</sup>で過<sup>す</sup>ごすことのできる年<sup>とし</sup>になってほしいと願<sup>ねが</sup>っています。



## 「壬寅」の歴史的な出来事

- 1282 (養和元年 11 月 25 日) 年: <sup>たかくら</sup>高倉天皇の <sup>ちゅうぐうたいらのとくこ</sup>中宮平徳子が <sup>けんれいもんいん</sup>女院 (建礼門院) となる  
(寿永元年 8 月 12 日) 年: <sup>みなものよりいえ</sup>源頼家誕生 (鎌倉幕府第 2 代将軍)
- 1722 (享保 7) 年: 江戸幕府 (八代将軍 徳川吉宗) が、米を上納を条件に大名の参勤交代による江戸滞在を半年に短縮する上米の制を導入。(享保の改革)
- 1782 (天明 2) 年: 天明の大飢饉始まる (-1787 年)
- 1842 (天保 12) 年: 天保の改革 (老中 水野忠邦) 江戸幕府が株仲間解散令発布
- 1902 (明治 35) 年: 日英同盟調印 <sup>てつどう</sup>江之島電気鐵道 (後の江ノ島電鉄) 開業 (藤沢・片瀬間)
- 1962 (昭和 37) 年: 米ケネディ大統領、キューバ海上封鎖を表明 (キューバ危機)



### ◆ 寅年に限ってみると・・・

- 1986 (昭和 61) 年: 男女雇用機会均等法が施行
- 1998 (平成 10) 年: サッカーワールドカップフランス大会に日本初出場・横浜ベイスターズが 38 年ぶり日本一
- 2010 (平成 22) 年: 民主党政権下で菅直人総理が誕生・小惑星探査機「はやぶさ」が 7 年ぶりに帰還し小惑星「イトカワ」の微粒子の回収に成功

### < 今年の出来事 >

- 1 月 3 日 核兵器を保有するアメリカ・ロシア・イギリス・フランス・中国の 5 カ国が、「核戦争に勝者はいない。核戦争を絶対に始めてはならない」とする共同声明を発表
- 2 月 4 ~20 日 北京にて第 24 回冬季オリンピック (北京オリンピック) 開催
- 3 月 4 ~13 日 北京にて第 13 回冬季パラリンピック (北京パラリンピック) 開催
- 3 月 9 日 大韓民国大統領選挙
- 4 月 1 日 日本の成人年齢が 18 歳に引き下げ 改正少年法施行
- 4 月 10 日 フランス大統領選挙 1 回目投票
- 5 月 9 日 フィリピン大統領選挙
- 9 月 日中国交正常化 50 周年
- 9 月 10~25 日 杭州市にてアジア競技大会開催
- 11 月 21 日~12 月 18 日 FIFA ワールドカップカタール大会開催



### 今年も次の「基本的な感染対策」の継続を心掛けましょう！

新型コロナウイルス感染症は、現在、デルタ株からオミクロン株へと急速に置き換わり、全国的に感染が拡大している状況です。学校でも今まで以上に感染拡大防止に努めるとともに生徒への注意喚起を行っていますが、家庭内感染が増加している中、ご家庭での感染予防策の徹底やリスクの高い行動を回避するようお願いいたします。

- ワクチンを接種した方も含め、  
飛沫防止効果の高い不織布マスク等を正しく着用  
こまめな手洗い、手指消毒、体調管理、三密回避、換気
- 基本的な感染対策を徹底し、「うつさない」、「うつらない」行動  
家族、友人など親しい間柄であっても、感染対策を徹底しましょう。
- 発熱・咳など少しでも体調が悪い場合は、無理をせずに登校を見合わせましょう。  
外出・移動を控え、医療機関に電話した上で、すぐに受診しましょう。

# 新年を迎えて

## 第一学年主任：林 晋央

生徒のみなさん、保護者の皆さま、地域の皆さま、新年あけましておめでとうございます。

2022年がスタートしました。新型コロナウイルス感染症の状況は、オミクロン株の感染増加が続き、まだまだ予断を許さない状況が続いています。不安な日常生活が今後も続きますが、明るい未来を信じて、前を向いて進んでいきたいものです。

さて、中学生のみなさん「一年の計は元旦にあり」という言葉がありますが、今年の計画はもう立てましたか。中学校の3年間は、自らの道（将来）を、自らが切り拓いていくという力をつけるとても大事な3年間です。将来を見据えた、今年の計画を考えられると、さらに良いと思います。我々も生徒とともに学び、さらに自分を磨く年にしたいと思います。

また、来年度は緑園学園が開校するため、1学年329名の仲間と過ごす時間も残りわずかとなります。この出会いに感謝し、1日1日を大切に、充実した生活を送ってください。

## 第二学年主任：新井浩子

生徒のみなさん、保護者の皆さま、地域の皆さま、本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

今年は、二年生のみなさんは最高学年に進級すると同時に二つの学校に分かれます。もちろん寂しさもありますが、これを前向きにとらえて成長につなげましょう。共に過ごした二年間で培ったものをもとに、それぞれの学校の良さを生かして義務教育最後の一年を過ごしてほしいと思います。「このメンバーだからこそできること」がどちらの学校にもあるはずで、それぞれの場所で、自分の花を咲かせ、実りの多い一年にしていきたいでしょう。

「いつも通り」にはいかないことが今年もあるかもしれません。でも、それは気づきや進歩のチャンスです。どんな状況の中でも、前に向かって、ゆっくりでもいいので歩いていきましょう。

## 第三学年主任：磯田敏雄

生徒のみなさん、保護者の皆さま、地域の皆さま、新年あけましておめでとうございます。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

中学校生活における総仕上げの時期に入り、赤学年全体として生徒自身が粘り強く、目の前の課題や進路に向き合っているところです。ウィズコロナの中で、勝負の時に自分自身の力を発揮するためにも、「めりはり」が必要であり、切り替えが大切になってきます。それによって心も一新され、新たな活力も生まれてきます。そして、このような時期だからこそ、周りで支える存在が必要になってきます。赤学年職員一同、生徒が新たなスタートを切るその日まで、保護者の皆さまのご理解ご協力をいただきながら、温かい目で見守り、励ましの言葉を送り続けていきたいと思ひます。寅年にあやかり、一人ひとりが「成長する」年になるように、新しい日常が「始まる」年になるように心から願っております。





# 校内書き初め展

新春を迎え、全校生徒による『校内書き初め展』が行われ、各学年の金賞作品が職員室前の廊下に掲示されています。次の生徒が横浜市立学校総合文化祭中学校書写展出展者と泉区中学校書き初め展出展者及び金賞受賞者です。

横浜市書写展出展者 千葉 琴美さん(2年4組)

泉区中学校書き初め展出展者

矢部 紗和さん(1-4)	篠木 美羽さん(1-4)
稲葉 羽咲さん(2-1)	中野心侍郎さん(2-3)
山本 紗椰さん(3-1)	今村 桃奈さん(3-2)

《 金賞受賞者 》

土居瀬里奈さん(2-5)
竹内めいなさん(1-1)
堀内 凜花さん(1-5)
尾崎 佑菜さん(1-8)



## お知らせ

1. 3年生 学年末テスト 2月1日(火) 英・国・数・理・社
2. まちとともに歩む岡中づくり懇話会 2月4日(金) 14:05~15:40~
3. 新入生保護者授業参観・説明会(上矢部小対象) 2月8日(火) 13:20~
4. 新入生保護者授業参観・説明会(岡津小・新橋小・他対象) 2月9日(水) 13:20~
- ☆ 新入生物品(ジャージ)販売 19日(土) 9:00~11:00 12:00~14:00
5. 1, 2年生 学年末テスト 2月16日(水) 1年: 理科 音楽 技家  
2年: 理科 技家 音楽  
17日(木) 1・2年: 英語 国語 保体  
18日(金) 1・2年: 数学 社会(学活)
6. 1, 2年生 横浜市学力学習状況予備調査 2月21日(月) 1校時 数学



### ～ 進路関係日程 ～

2月 4日(金)・7(月)・8日(火)	公立高校共通選抜志願変更 ※8日のみ正午まで
10日(木)～	私立高校入試・面接
15日(火)	公立高校共通選抜 学力検査・特色検査
16日(水)・17日(木)	公立高校共通選抜 面接・特色検査
25日(金)	公立高校共通選抜 追検査(一般)
	公立高校共通選抜 追検査(クリエイティブ・インクルーブ)

3月 1日(月) 公立高校共通選抜 Webサイトによる合格発表

閲覧時間 3/1午前9時～3/2午後6時まで

※ パソコン、スマートフォン(タブレット含む)にて対応

### — コロナ禍での受検対応 —

昨年度と同様に今年度も新型コロナウイルス感染症の拡大防止の為、密の状態を避けるという観点から公立高校受検関係においては、中学校からの郵送による一斉出願及びWebサイトによる合格発表という形態がとられます。詳細は進路指導主任より連絡があります。

**ピンクシャツデー PINK SHIRT DAY**  
毎年2月最終水曜



カナダうまれの  
いじめ反対運動

ピンクシャツデーは、ピンクシャツを着たり、ピンク色のものを身に着けることで「いじめ反対」の意思表示をする日です。現在は、カナダばかりでなく数十もの国や地域にも広まり、世界的キャンペーンとなっています。

2007年、カナダ・ノバスコシア州のハイスクールです。9年生（中学3年生）の男子生徒がピンク色のポロシャツを着て登校したことをきっかけに、ホモセクシャルだからかわれ暴行を受け、たえきれずに帰宅してしまいました。その出来事を聞いた上級生のデイヴィッド氏とトラヴィス氏。12年生（高校3年生）の彼らにとっては、その学校で過ごす最後の年でした。

**「いじめなんて、もう、うんざりだ！」 「アクションを起こそう！」**

そう思ったふたりは、その日の放課後、ディスカウントストアへ行き75枚のピンク色のシャツやタンクトップを買いこみました。そしてその夜、学校のBBS 掲示板やメール等を通じてクラスメートたちに呼びかけました。

**「明日、一緒に学校でピンクシャツを着よう！」と。**

翌朝、ふたりはピンク色のシャツやタンクトップを入れたビニール袋を手に登校しました。学校について校門で配りはじめようとしたふたりの目に映った光景…

それはピンクシャツを着た生徒たちが次々と登校してくる姿でした。ピンクシャツが用意できなかった生徒たちは、リストバンドやリボンなど、ピンク色の小物を身につけて登校してきました。頭から爪先まで、全身にピンク色をまとった生徒もいました。



**いじめに対して、言葉や暴力ではなく行動で意思表示をしようと立ち上がった！**